

《楽団創立40周年記念シリーズ》第14回

# モーツァルト室内管弦楽団

## 第140回定期演奏会

《モーツァルトとハイドン》その5

ハイドン◆交響曲 第82番 ハ長調《熊》

ベートーヴェン◆ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 Op.15

モーツァルト◆交響曲 第41番 ハ長調 K.551《ジュピター》



ピアノ: 宮崎 剛

W.A. Mozart  
F.J. Haydn  
&  
L.v. Beethoven



指揮: 門 良一

Ryoichi Kado &  
Takeshi Miyazaki  
mit dem Mozart-Kammerorchester



モーツァルト室内管弦楽団

2011. 3/4 (金) いずみホール

7:00pm開演 (6:30pm開場)

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、  
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。  
有料駐車場完備

入場料: 一般 ¥4,500(指定席) / 学生 ¥2,000(当日限定数発売)

\*小学生よりご入場いただけます。 \*前売一般券完売の場合、学生券の販売はありません。

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.hi-ho.ne.jp/mozart/> 協賛◆いずみホール【財団法人 住友生命社会福祉事業団】

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL.06-6135-0503 FAX.06-6135-0504 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 127-241)  
ローソンチケット 0570-084-005(Lコード: 53127)

\*本公演は日本ユニセフ協会に賛同し、世界の子供たちのために当日会場では募金活動なども行います。

# W.A. Mozart F.J. Haydn & L.v. Beethoven

モーツァルトは弦楽四重奏曲の作曲において大先輩のハイドンを模範とした。交響曲においても同じことをしている。1788年に書かれたモーツァルトの〈3大交響曲〉(第39番、第40番、第41番《ジュピター》)は、その2年前にハイドンが作曲した6曲からなる〈パリ交響曲集〉(第82~87番)からの影響を直接に受けている。モーツァルト室内管弦楽団はこの二人の大作曲家が互いに影響を与えあった結果生まれた作品を比較演奏するシリーズ〈モーツァルトとハイドン〉を続けてきた。昨年3月にはハイドンの第83番《めんどり》とモーツァルトの第40番の、どちらも短調の交響曲を取り上げたが、今回は《熊》という愛称で呼ばれるハイドンの交響曲第82番と、それから影響を受けて作られたモーツァルトの最後の交響曲《ジュピター》というともにハ長調の交響曲を比較演奏する試みである。今回は、この二人の後輩に当たるベートーヴェンの同じくハ長調のピアノ協奏曲が加わっているのが面白いのではないだろうか。

## モーツァルト室内管弦楽団／指揮・門 良一 Mozart-kammerorchester / Ryoichi Kado, Dirigent

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、40年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠として定期演奏会を、また東京定期演奏会は既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス('85、'87年)、シブリアン・カツァリス('93、'94年)、ペーター・ダム('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キュヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シテオペラとの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。2007年より〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、2009年からは〈創立40周年シリーズ〉を始めている。

## 宮崎 剛(ピアノ) Takeshi Miyazaki, Klavier

武蔵野音楽大学卒業、大阪音楽大学大学院修了。大学卒業以来、毎年のリサイタル、大阪フィル、関西フィル、大阪交響楽団、ルーマニア室内管など内外のオーケストラとの共演や、国内外で多くの依頼公演を行うなど、その活動は多岐にわたっている。その演奏は「音楽の友」「ムジカノーヴァ」などで紹介され「厚みがありダイナミックで多彩な音色を持つ」と評価が高く、それらは二枚のライブCDで楽しむことが出来る。また指揮、作曲編曲もこなし、特にピアノを演奏しながら管弦楽や合唱と共演する「弾き振り」の分野では、奏者聴衆一体となった音楽が、独自の領域を築きつつある。一方、大阪音大や同付属音楽院で講師を歴任。府立岸和田高校や宝塚音楽学校で講師を務めるなど、後進の指導にも熱心である。また、各地の文化センターでの「生演奏」つき講座は、一般音楽愛好家の高評価を得ている。

NHK-FM名曲リサイタル出演、大阪府芸術劇場奨励新人賞、和泉市文化功労賞受賞。日本演奏連盟会員。

近況はこちら→<http://www.takeshi-piano.com>

## 楽団創立 40周年記念シリーズ 指揮・門 良一

【第141回定期演奏会／定期サロンコンサート】  
2011年4月23日(土)午後2時 会場／中央電気倶楽部  
〈クライネ・モーツァルト〉第78回例会

〈モーツァルト室内管弦楽団創立40周年記念シリーズ〉第15回  
(モーツァルトの室内楽)

モーツァルト◆ディヴェルティメント 変ロ長調 K.137(弦楽四重奏)  
モーツァルト◆ディヴェルティメント 変ホ長調 K.563(弦楽三重奏)  
モーツァルト◆未完成クラリネット五重奏曲の断章：アレグロ 変ロ長調 K.-Anh.91(K.516c)  
アンダンテ・ロンド 変ホ長調 K.516d ロンド イ長調 K.-Anh.88(K.581a)  
モーツァルト◆クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581

【第142回定期演奏会】  
2011年7月9日(土)午後2時 会場／いずみホール  
(モーツァルト室内管弦楽団創立40周年記念シリーズ)第16回  
(ベートーヴェン・シリーズ)その1  
ベートーヴェン◆序曲《コリオラン》Op.62  
ベートーヴェン◆ピアノ協奏曲(未定)  
ベートーヴェン◆交響曲 第4番 変ロ長調 Op.60  
ピアノ：内田 胎子(予定)